



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年8月13日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）矢内 廣
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役コーポレート統括 （氏名）吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第1四半期	4,590	△90.0	△2,732	—	△2,618	—	△2,760	—
2020年3月期第1四半期	45,908	△7.4	171	△71.1	163	△72.7	108	△74.6

（注）包括利益 2021年3月期第1四半期 △2,764百万円（－％） 2020年3月期第1四半期 117百万円（△73.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△202.80	—
2020年3月期第1四半期	7.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第1四半期	51,676	3,185	6.0
2020年3月期	58,610	6,019	10.2

（参考）自己資本 2021年3月期第1四半期 3,124百万円 2020年3月期 5,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としています。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	14,657,613株	2020年3月期	14,657,613株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,048,309株	2020年3月期	1,048,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	13,609,304株	2020年3月期1Q	13,667,815株

（注）株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、個人消費や企業の経済活動が制約を受け、極めて厳しい状況が続いております。当社が事業基盤とする国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全国規模での興行・イベントの中止・延期が広がり、急速な収縮を余儀なくされています。

こうした状況下、中期経営計画の最終年度にあたる当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、新型コロナウイルス感染症に起因する政府からの自粛要請等による興行市場の全国的な収縮に伴い、大幅な減収・減益となりました。

以上の結果、当社グループの第1四半期の業績は、連結売上高45億90百万円(前年同期比90.0%減)、営業損失27億32百万円(前年同期は営業利益1億71百万円)、経常損失26億18百万円(前年同期は経常利益1億63百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失27億60百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億8百万円)となりました。

当社グループとして、現時点においては国内レジャー・エンタテインメント業界の業況回復のスピードと強まりの見極めが難しいことから、通期業績見通しの開示は困難な状況ではありますが、「全従業員の雇用と生活を守りつつ、事業の継続を担保するための万全のキャッシュフロー対策と共に、全社経費の大幅な見直しを講ずること、漸次黒字基調への転換に向けた道筋をつけ、さらにはポストコロナを見据えた財務基盤の確保にも注力する」という財務運営方針のもと、以下のような施策を果敢に実行に移しております。

- ・キャッシュフローについては、昨年度末以来、万全の対応を講じております。随時短期借入金の継続を実施し、次年度に亘る事業継続可能な流動性は確保済みであり、今後はさらに中長期的な観点からの資金確保にも注力いたします。
- ・一方、今後の売上動向については、漸次回復の方向に向かうと見込まれますが、大規模イベントの開催にかかる、政府等からの規制緩和の発動のタイミング等が流動的で、売上高の回復スピードと強さは依然、見極め難い状況です。
- ・こうした状況下、全従業員の雇用と生活を守りつつ、役員報酬の減額等も含めた全社経費の縮減策等を速やかに断行し、年度末に向けての黒字基調への早期回復を目指します。
- ・また、この難局を全社員で乗り切るべく、従前より導入済みの譲渡制限付株式(RS)の付与や、その他財務基盤の拡充に資する諸施策の検討も鋭意進めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、516億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して69億33百万円減少いたしました。流動資産は303億46百万円(前連結会計年度末比84億75百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同66億36百万円)と売掛金の減少(同64億86百万円)であります。また、固定資産は213億30百万円(前連結会計年度末比15億41百万円増)となりました。変動の主なものは、アリーナ建設関連費用の増加であります。

負債は、484億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して41億円減少いたしました。流動負債は386億78百万円(前連結会計年度末比40億37百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同137億47百万円)と短期借入金の増加(同114億円)であります。また、固定負債は98億12百万円(前連結会計年度末比62百万円減)となりました。

純資産は、31億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億33百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失27億60百万円の計上と配当金68百万円の支払により利益剰余金が28億28百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症による業績への影響を現時点で合理的に算定することが極めて困難であることから、未定といたします。今後開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,869	17,232
売掛金	11,707	5,220
商品及び製品	129	143
仕掛品	6	14
原材料及び貯蔵品	9	10
未収還付法人税等	289	281
その他	2,963	7,583
貸倒引当金	△153	△140
流動資産合計	38,821	30,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	59	47
工具、器具及び備品（純額）	177	160
土地	6	6
リース資産（純額）	—	25
建設仮勘定	11,191	12,650
有形固定資産合計	11,434	12,890
無形固定資産		
ソフトウェア	4,284	3,963
ソフトウェア仮勘定	439	888
その他	59	59
無形固定資産合計	4,783	4,910
投資その他の資産		
投資有価証券	780	744
その他	3,195	3,189
貸倒引当金	△405	△405
投資その他の資産合計	3,570	3,529
固定資産合計	19,788	21,330
資産合計	58,610	51,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,943	18,195
短期借入金	3,100	14,500
1年内返済予定の長期借入金	294	315
未払金	2,950	1,308
未払法人税等	24	5
賞与引当金	5	5
返品調整引当金	335	157
新型コロナ関連損失引当金	348	122
その他	3,713	4,069
流動負債合計	42,715	38,678
固定負債		
退職給付に係る負債	118	118
長期借入金	9,205	9,126
株式給付引当金	134	132
資産除去債務	72	72
その他	345	362
固定負債合計	9,875	9,812
負債合計	52,591	48,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,924	4,924
資本剰余金	1,121	1,121
利益剰余金	4,289	1,461
自己株式	△4,331	△4,331
株主資本合計	6,003	3,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	19
為替換算調整勘定	△50	△50
退職給付に係る調整累計額	△20	△19
その他の包括利益累計額合計	△51	△50
非支配株主持分	66	61
純資産合計	6,019	3,185
負債純資産合計	58,610	51,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	45,908	4,590
売上原価	42,675	5,058
売上総利益又は売上総損失(△)	3,233	△467
返品調整引当金戻入額	426	335
返品調整引当金繰入額	259	157
差引売上総利益又は差引売上総損失(△)	3,400	△289
販売費及び一般管理費	3,229	2,442
営業利益又は営業損失(△)	171	△2,732
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
諸債務整理益	6	1
助成金収入	—	172
その他	0	0
営業外収益合計	11	180
営業外費用		
支払利息	3	26
持分法による投資損失	7	35
支払手数料	1	3
その他	6	1
営業外費用合計	19	67
経常利益又は経常損失(△)	163	△2,618
特別損失		
減損損失	—	10
新型コロナ関連損失	—	125
特別損失合計	—	136
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	163	△2,755
法人税等	47	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115	△2,765
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	108	△2,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	115	△2,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	0
為替換算調整勘定	0	—
退職給付に係る調整額	2	0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	1	0
四半期包括利益	117	△2,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	△2,759
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。